

## 「大宴会に招かれる」

2015年09月24日

ルカによる福音書 14章 15節～24節。食事を共にしていた客の一人は、これを聞いてイエスに、「神の国で食事をする人は、なんと幸いなことでしょう」と言った。そこで、イエスは言われた。「ある人が盛大な宴会を催そうとして、大勢の人を招き、宴会の時刻になったので、僕を送り、招いておいた人々に、『もう用意ができましたから、おいでください』と言わせた。すると皆、次々に断った。最初の人には、『畑を買ったので、見に行かねばなりません。どうか、失礼させてください』と言った。ほかの人には、『牛を二頭ずつ五組買ったので、それを調べに行くところです。どうか、失礼させてください』と言った。また別の人は、『妻を迎えたばかりなので、行くことができません』と言った。僕は帰って、このことを主人に報告した。すると、家の主人は怒って、僕に言った。『急いで町の広場や路地へ出て行き、貧しい人、体の不自由な人、目の見えない人、足の不自由な人をここに連れて来なさい。』やがて、僕が、『御主人様、仰せのとおりにいたしました。が、まだ席があります』と言うと、主人は言った。『通りや小道に出て行き、無理にでも人々を連れて来て、この家をいっぱいにしてくれ。言っておくが、あの招かれた人たちの中で、わたしの食事を味わう者は一人もいない。』」

主イエスは「宴会を催すときには、むしろ、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。そうすれば、その人たちはお返しができないから、あなたは幸いだ。正しい者たちが復活するとき、あなたは報われる」と語られた。これを聞いていた一人の人が「神の国で食事をする人は、なんと幸いなことでしょう」と言った。そこで、主イエスは譬えを語られた。金持ちの主人が盛大な宴会を催そうと、大勢の人を招いた。宴会の準備ができたので、僕を送り、招待客に再度「用意ができましたから、おいでください」と伝言させた。すると「最初の人には、『畑を買ったので、見に行かねばなりません。どうか、失礼させてください』と言った。ほかの人には、『牛を二頭ずつ五組買ったので、それを調べに行くところです。どうか、失礼させてください』と言った。また別の人は、『妻を迎えたばかりなので、行くことができません』と言った」。

怒った主人は、僕に言いつけた。「急いで町の広場や路地へ出て行き、貧しい人、体の不自由な人、目の見えない人、足の不自由な人をここに連れて来なさい。」僕は言いつけ通りにしたが、まだ席は余っていた。「御主人様、仰せのとおりにいたしました。が、まだ席があります」と報告すると、主人は「通りや小道に出て行き、無理にでも人々を連れて来て、この家をいっぱいにしてくれ」と命じた。

主人が催した宴会は「神の国の食事」である。食事に招かれた客は自分の都合を言い訳にして、断った。そこで、貧しい人や身体に不自由がある人々を招いたが、まだ席に余裕があったので、無理にでも引っ張って来て席を満たそうとした。神の国の食事は有り余るほどの食卓が用意されている。神は、その食卓を客で満たしたいと招いておられる。主イエスは最後に「言っておくが、あの招かれた人たちの中で、わたしの食事を味わう者は一人もいない」と締めくくっている。当初「あの招かれた人たちは食事を味わうことができず、本来、招かれていなかった社会的無資格者たちが「神の国の食事」の喜びと祝福に与ることができる」と言われる。神の国では逆転現象が起こる。